

要点まとめてチェック! 活用事例

Web 学習教材

青森県平内町立小湊中学校では、教育コンテンツ配信サービスEduMallから「Web学習教材『要点まとめてチェック!』」理科の3学年セットを購入されています。

年間をとおしてどのように利用されているのか、1年生、2年生の理科をご担当されている山中先生にお話を伺いました。



一 生徒が、見ているだけではなく自ら作業できる良さ

小湊中学校では、定期テストの1週間前から2・3時間を学習単元の復習時間に充てており、生徒がワーク教材に取組むことや、ICT教材に取組める時間としています。「Web学習教材『要点まとめてチェック!』」は、生徒が自身で学習した内容を思い返すことができるICT教材として利用しています。単元の重要ポイントを、カード形式で確認できる「要点整理カード」は、重要語句を隠したり、付箋のようにめくることができるので、生徒がただ見ているだけではなく、自ら自分の理解度を確認しながら学習できることが魅力であるとお話いただきました。

一 ICT教材とワーク教材の併用

小湊中学校では復習の時間に、学習した単元の内容を書き込んで学習するワーク教材も利用しており、ICT教材として「Web学習教材『要点まとめてチェック!』」を利用する時間と、紙媒体のワーク教材を利用する時間の配分とを、50分の授業時間の中で生徒に任せていることも興味深い利用方法です。一斉指導や、先生の指示ではなく、生徒が自ら学習したい箇所や分からない箇所、不安な箇所を選び学習できることや、テストが終わった後にも単元の重要ポイントをすぐに確認できることはICT教材の良さだとお話をいただきました。一方で、「Web学習教材『要点まとめてチェック!』」には、個別の利用を想定し、1項目あたりに要点をコンパクトに解説した音声映像が用意されていますが、児童が個々に視聴する場面では、視聴にイヤホンの準備が必要であるとの指摘がありました。

一 他教科の先生にもお勧めしていきたいコンテンツ

今回、小湊中学校では、テスト前に学習内容を復習するコンテンツとしてとして「Web学習教材『要点まとめてチェック!』」を活用されているとお話を伺いましたが、教科書の学習内容が多い中学校の指導現場にあって、こうした復習時間を年間指導計画の中で意図して確保することの難しさもお話いただきました。学習コンテンツは利用して、効果が実感できるものです。今回、お話を伺った山中先生は、同学校のICTをご担当されていることから、今回の活用の船頭を担っていらっしゃいます。今後は、他教科の「Web学習教材『要点まとめてチェック!』」についても、同学校の先生方にも活用できるコンテンツとしてお勧めしていきたいとお話をされていました。